

富士市自然環境マップ整備事業

キャンペーン調査講習会

「ツバメのおうちはどこにある？」を実施しました。

近年、ツバメやスズメなどの身近な鳥が減っています。市街地に生息する鳥たちが、環境の変化で減っていることを知ることで、市街地も重要な生息環境であることを考えてもらえる機会にすることを目的に、5月22日（日）に実施しました。

当日は、約50名の市民の方に参加していただきました。

3班に分かれ、それぞれ別々のルート歩き、建物に作られたツバメの巣の数を数えました。

野鳥の会の3名を講師におかえ、ツバメの巣以外にも歩るきながら見られた鳥について教えてもらいました。



見つけたツバメの巣→

←歩きながら巣を探している様子



この日は**315**戸の建物を調べ、**10**個のツバメの巣を見つけることができました。

残念ながら、1個も見ることの出来ないルートや入口にありフンが落ちるため壊されているところもあったようです。

ツバメの巣が多かったところは、田んぼや畑が近くにあり、人通りのある場所でした。